



学校だより

平成30年11月30日
横浜市立豊田小学校
12月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

量も質も

校長 瀬尾芳保

豊田のまちも紅葉の季節を迎え、枝に残った葉がわずかに色づいています。繰り返してやってきた台風による塩害か、いつもの年とは違った風景に感じますが、季節は着実に進んでいるようです。

昨年度まで保護者の皆様に紙の文書で配布をお願いしてきた、学校教育についてのアンケートを、横浜市の電子申請システムを活用してパソコンやスマートフォンから答えていただく形式に変更しました。皆様のご協力でたくさんの回答をいただきました。教職員で情報を共有しながら、来年度の計画作りの参考にしていきたいと考えています。

さて、本校では以前から読書活動に力を入れ、子どもたちが本に触れ、読むことで得られる心の成長を大切にしたいと考えてきました。朝読書や国語の時間に本を手に取り、読むことを繰り返す中で、読書が子どもたちの生活に定着していくことを目指しています。

これまでの指導や図書、読み聞かせのボランティアのご協力も得ながら進めてきた読書指導に、平成28年度から学校司書が加わったことでさらに大きな力となってい

ます。

図書館にいつも相談できる人がいて、読みたい本、知りたいことがどこにあるか、どんな本を探せばよいかを的確に、素早く助言してもらえることは、子どもたちが本に親しみ、知的好奇心を高めることに大きく貢献しています。また、国語や社会の学習で活用できる本を事前に集めたり、栄図書館からまとめて借りてきたりすることで、学習が広がり、深まるようになりました。

ここ数年貸出数が増え、読書の「量」が充実してきたことを実感しています。まずたくさんの本に出会い、読むことで別の本に目が向き、次につながっていきます。

そして今年度になって、量だけでなく「質」にも変化が表れてきました。これまではどちらかというと敬遠されがちだった本の貸出数が増え、人気の本のランキングが変わってきました。

たくさん読んでいるうちに、以前は手に取らなかった「難しい本」を読もうとする子どもたちが確実に増えているのです。

これからも、じっくりと時間をかけ、読書活動を進めていきたいと考えています。

図書館だより 第4号 「司書のつぶやき」より

貸出冊数は今のところはまだ伸び続けてはいますが、中休みと昼休みの貸出し時間が限られているので、頭打ちになってきた感は否めません。しかし、今年と昨年の本の分類を見比べるとそこには大きな変化が見られます。貸出数の大きな部分を占めているのが1年生～3年生の数字です。この表では表示されていませんが、昨年の1～3年生の「絵本」の貸出数は709冊でしたが、今年は576冊に減っています。それに変わり、「物語」の冊数が1,174冊から1,639冊に大幅に増加し、「調べ学習」の冊数も1,008冊から1,289冊に増えています。必ずしも絵本より物語や調べ学習の本が優れているというわけではありませんが、「見る」という行動より「読む」という行為をする子どもたちが増えてきたのは間違いないところだと思います。

特に3年生の人気本ランキングに「君たちはどう生きるか」と「漫画 君たちはどう生きるか」の2冊が1・2フィニッシュしており、全学年でも「君たちはどう生きるか」が2位に入っていることに私は驚きを隠せません。また夏休み明けに購入した、「学校では教えてくれない大切なこと」シリーズ(全23巻)を9月中旬から配架したところ、すごい勢いで貸し出されているのを実感し、これは読書の量もさることながら、質が上がっている事の現れだと考えてもよいと思います。

環境を整えてくださる図書館支援隊の方々、毎日中休みと昼休みに本の貸出しや返却の業務をやっている図書委員さんたち、授業で図書館を利用してくださる先生方に感謝致します。有難うございます。